

鎌倉時代4 (武士の暮らしと産業の発達)

学習日 月 日

点

1 右の図を見て、あとの各問いに答えなさい。

鎌倉時代の武士は、右の図のような
住まいに住み、まわりに堀（ほり）や
土塁（どるい）をめぐらせていました。



① 右の図のような武士の住まいのつくり
を何とといいますか。

()

② 堀や土塁をめぐらせたのはなぜですか。次から1つ選びなさい。

ア. 敵の侵入（しんにゆう）を防ぐため イ. 水を引くため
ウ. 畑をつくるため

()

③ 武士の一族の長を何とといいますか。

()

④ あとつぎ以外の子にも領地を分けてあたえる相続のしかたを
何とといいますか。

()

⑤ 武士が幼いころからはげんだ武芸を、次から1つ選びなさい。

ア. 流鏑馬（やぶさめ） イ. 相撲（すもう）
ウ. けまり

()

2 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

鎌倉時代には農業や商業が発達しました。同じ田で米と麦をつくる方法が広まり、
村では決まった日に市が開かれるようになりました。

① 同じ田で米と麦を交互（こうご）につくる方法を
何とといいますか。

()

② ①がとくにさかんに行われたのは、東日本と西日本の
どちらですか。

()

③ 鎌倉時代に広まった農業のくふうを、次からすべて選びなさい。

ア. 牛や馬を使った耕作 イ. 草や木を焼いた灰の肥料
ウ. 石包丁（いしぼうちょう）を使った収穫

()

④ 村で月に3回ひらかれた市を何とといいますか。

()

⑤ ④で使われた、中国から輸入された貨幣（かへい）を
何とといいますか。

()

解答

1

- ① 武家造(ぶけづくり)
- ② ア
- ③ 惣領(そうりょう)
- ④ 分割相続(ぶんかつそうぞく)
- ⑤ ア

2

- ① 二毛作(にもうさく)
- ② 西日本
- ③ ア、イ
- ④ 定期市(ていきいち)
- ⑤ 宋銭(そうせん)